

— 株主のみなさまへ —



第84期 中間報告書

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社

あずき花

あずきの皮使用



あずき混抄紙 **紅金剛**

この株主報告書の表紙に使用している紙は、井村屋本社工場にて生あんの製造時に出るあずきの皮を有効活用しております。

証券コード 2209



代表取締役社長(COO) 中島 伸子 代表取締役会長(CEO) 浅田 剛夫 代表取締役副社長 前山 健

井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第84期上半期(2020年4月1日～2020年9月30日)が終了し、中間報告書をお届けするにあたりご挨拶を申し上げます。

当会計年度における私たちを取り巻く日本の経済環境は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による企業収益の悪化や所得の落ち込みなど、先行きは引き続き非常に不透明な状況となっております。

当第2四半期は、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響によりコンビニエンスストアやスイーツカテゴリー各店舗での売上は減少しましたが、一方で夏場の主力である冷凍商品が好調に推移しました。

下半期に向けて、冬場の主力の点心・デリ事業において「大豆

ミートまん」の市場投入や、冷凍下でも柔らかい食感のおもちが好評をいただいております「やわもちアイス」カップシリーズの全面リニューアルなど、今後の消費者動向を見据えた積極的展開を行ってまいります。

また、ニューノーマル時代への変化対応として、グループ内で新しいマーケティング戦略の実行や働き方改革推進などのプロジェクトによる活動、グループ全体でDX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した構造改革に取り組み、SCM強化、生産性向上、更なる働き方改革の推進により、サステナブルな企業への変革を目指して活動を展開してまいります。

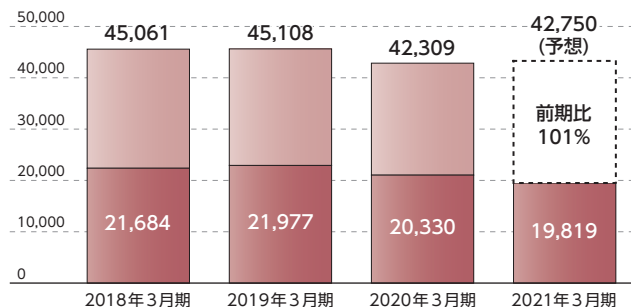
株主のみなさまにおかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

■ 通期実績 (4月1日～3月31日) ■ 中間実績 (4月1日～9月30日)

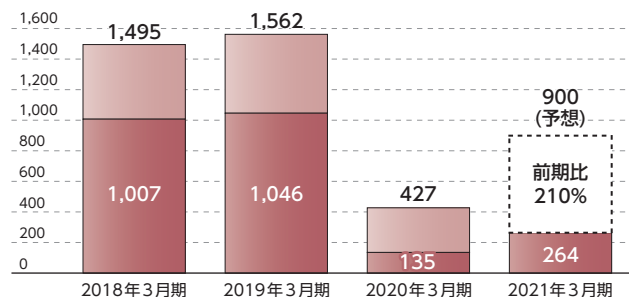
売上高

単位:百万円



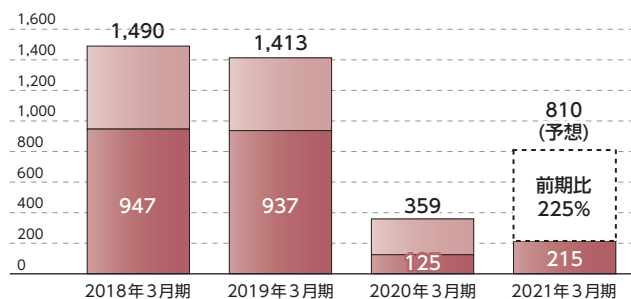
経常利益

単位:百万円



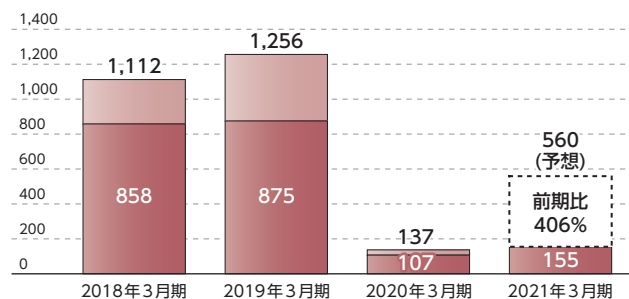
営業利益

単位:百万円



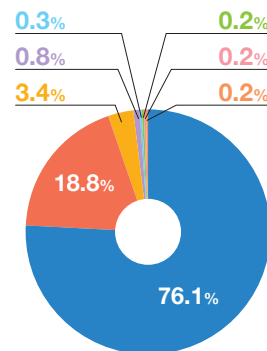
親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



持株会社及び事業会社別の売上高

■ 井村屋(株) 76.1%	■ 井村屋グループ(株) 0.3%
■ 井村屋フーズ(株) 18.8%	■ イムラ(株) 0.2%
■ IMURAYA USA, INC. 3.4%	■ 井村屋(北京) 食品有限公司 0.2%
■ 北京京日井村屋食品有限公司 0.8%	■ 井村屋(大連) 食品有限公司 0.2%



四半期連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 2020年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2020年9月30日
(資産の部)		
流動資産	10,032	11,578
現金及び預金	1,184	1,332
受取手形及び売掛金	5,053	6,452
たな卸資産	3,198	3,351
その他	596	443
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	19,375	19,394
有形固定資産	16,875	16,756
無形固定資産	169	152
投資その他の資産	2,329	2,485
資産合計	29,407	30,972
(負債の部)		
流動負債	11,803	13,663
固定負債	2,179	1,959
負債合計	13,983	15,622
(純資産の部)		
株主資本	13,451	13,293
その他の包括利益累計額	1,902	1,984
非支配株主持分	70	72
純資産合計	15,424	15,349
負債・純資産合計	29,407	30,972

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1 資産

夏物商品の販売に伴う売掛金の増加などにより、増加いたしました。

POINT2 負債

冬物商品の生産に連動した買掛金等の増加により、流動負債が増加いたしました。長期借入金及びリース債務の減少により、固定負債が減少いたしました。

四半期連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	20,330	19,819
売上原価	13,999	13,598
売上総利益	6,331	6,221
販売費及び一般管理費	6,205	6,005
営業利益	125	215
営業外収益	77	83
営業外費用	67	34
経常利益	135	264
特別利益	139	41
特別損失	41	1
税金等調整前四半期純利益	233	304
法人税等合計	124	146
四半期純利益	108	157
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	107	155

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1 夏場の冷蔵商品は好調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響によりコンビニエンスストアやスイーツカテゴリー各店舗での売上高は前年を下回りました。

POINT2 グループ全体でコスト削減に取り組み、四半期純利益は前年同期を上回りました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,252	1,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,683	△ 585
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 790	△ 623
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8	△ 13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,230	149
現金及び現金同等物の期首残高	2,716	1,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,486	1,332

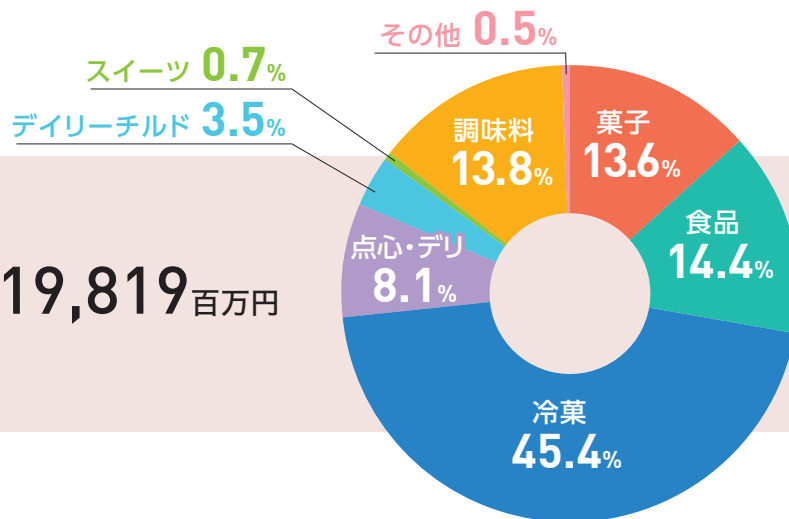
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)
仕入債務及び未払金の増加により、前年同四半期に比べ、収入が増加いたしました。

POINT2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)
有形固定資産の取得による支出の減少により、前年同四半期に比べ、支出が減少いたしました。

POINT3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)
短期借入金の返済による支出の減少により、前年同四半期に比べ、支出が減少いたしました。

連結売上高 **19,819**百万円



菓子 2,704百万円 (前年同期比21百万円(0.8%)減)

煮あずき製法により、健康志向で機能性の高い「えいようかん」や「片手で食べられる小さなようかん」が順調に推移しました。また、新商品の「もっちりがるんわらびもち 黒糖・柚子」が売上を伸ばしましたが、「水ようかんギフト」の売上は減少となりました。



食品 2,863百万円 (前年同期比36百万円(1.3%)増)

内食需要増により「氷みつ」や「レンジで簡単おしろこ」「レンジで簡単ぜんざい」の売上が増加しました。また、冬物商品の「冷凍まん」では豚肉を一切使用せず大豆を使用した健康志向の「2コ入大豆ミートまん」や家庭需要をテーマとした「2コ入ホットケーキまん」を新発売し、順調なスタートとなりました。



冷菓 8,990百万円 (前年同期比563百万円(6.7%)増)

冷菓商品は主力の「あずきバー」シリーズが順調に推移し、上期においては過去最高の売上本数となりました。「やわもちアイス」シリーズでは、ラインナップを増やした「BOXやわもちアイス」シリーズの売上が増加し、「やわもちアイス」シリーズの売上は前年同期比107.2%となりました。



点心・デリ 1,604百万円（スチーマー商品）（前年同期比715百万円(30.9%)減）

「肉まん・あんまん」などの点心・デリカテゴリーは、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛や8月から9月の厳しい残暑などの影響で、コンビニエンスストアでの販売が減少しました。



デイリーチルド 693百万円（前年同期比92百万円(11.8%)減）

「豆腐類」ではコロナ禍で外食向け業務用商品の需要が減少しました。また、残暑の影響もあり、「チルドパックまん」はスタート時の売上が伸び悩みました。



スイーツ 134百万円（前年同期比151百万円(52.9%)減）

スイーツカテゴリーでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、出店している商業施設や百貨店の要請により、休業や営業時間を短縮するなど、集客が大幅に減少しました。そのような状況の中、各店舗で品質管理と感染防止対策を徹底し、お客様満足の向上に努めました。「La maison JOUVAUD（ラ・メゾン・ジュヴォー）広尾店」では立地特性を活かしテイクアウト商品が増加し、売上が前年を上回りました。



調味料 2,729百万円（前年同期比117百万円(4.1%)減）

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、新規顧客獲得やお客様ニーズに対応した商品提案に取り組みました。4月～5月には内食需要増により受注が増加しましたが、6月以降は得意先の在庫調整やコンビニエンスストア向けの業務用商品の受注減少により売上が伸び悩みました。中国での調味料事業においても、新型コロナウイルスの影響が大きく、中国国内の売上が減少しました。



その他 99百万円（前年同期比12百万円(10.9%)減）

イムラ株式会社では、井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI屋」は新型コロナウイルスの影響により4月から6月において開催を中止し売上が減少しました。本社近隣のイオンスタイル津南に出店している「ソフトアイスクリーム&スイーツ店WaiWai(ワイワイ)」においても客数が大きく減少しました。また、本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に店出しておりました「imuraya Sweets Shop irodori」は9月30日をもって閉店させていただきました。開店以来のご愛顧に感謝申し上げます。

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,086,200株 (自己株式1,489株を含む)
単元株式数	100株
株主数	9,481名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株 式 会 社 第 三 銀 行	588	4.49
株 式 会 社 百 五 銀 行	578	4.42
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	559	4.27
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信託銀行株式会社(信託口)	537	4.10
井 村 屋 取 引 先 持 株 会	533	4.07
株 式 会 社 日 本 カ ス ト デ ィ 銀 行 (信 託 口)	336	2.57
株 式 会 社 り そ な 銀 行	286	2.18
株 式 会 社 西 村 商 店	239	1.82
株 式 会 社 日 本 カ ス ト デ ィ 銀 行 (信 託 口 5)	214	1.63
株 式 会 社 三 重 銀 行	203	1.55

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様へのインフォメーション

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

100株以上500株未満の株主様

Three Japanese food products are shown. The first is a bag of 'Hokkaido Yuzuki' (北海道ゆずき) red bean paste, featuring a red bean paste filling. The second is a box of 'Oshichi no Miso' (お七の味噌) miso soup, showing a bowl of miso soup with a small bowl of miso paste. The third is a box of 'Oshichi no Miso' (お七の味噌) miso soup, showing a bowl of miso soup with a small bowl of miso paste.

500株以上1,500株未満の株主様

A collection of Japanese instant noodle products. The products are arranged in two rows. The top row includes a large bag of 'Ramen' (left), a cup of 'Shoyu' (left), a cup of 'Tonkotsu' (center), a cup of 'Miso' (right), and a cup of 'Shoyu' (far right). The bottom row includes a cup of 'Tonkotsu' (left), a cup of 'Shoyu' (center), a cup of 'Miso' (right), and a cup of 'Udon' (far right). The products are shown in their original packaging, which features various colors and designs.

1,500株以上の株主様

A collection of Japanese instant noodle products, including various flavors like 'Tantanmen' (spicy), 'Udon', and 'Ramen', displayed in their original packaging.

[illegible]

7

【リニューアル】やわもちアイス



「やわもちアイス」シリーズがリニューアルしました。カップタイプは、よりもちりしたもちが楽しめる「バニラ」「宇治抹茶」、ぶるん食感がアップした「わらびもち」をご用意しました。昨年人気だった「黒ごま」も季節限定で登場します。小ぶりのサイズがちょうどよいBOXタイプは「バニラ」と季節限定「黒蜜きなこ」を販売しています。甘味処を思わせる本格的な和風アイスをお楽しみください。

【新商品】KASANEL どらやきロールアイス 抹茶

【リニューアル】KASANEL どらやきロールアイス バニラ



どらやきとアイスを組み合わせた「どらやきロールアイス」に、季節限定フレーバー「抹茶」が加わりました。アイスに宇治抹茶を配合しています。また、「あんこをもっと味わいたい」というお客様のお声にお応えし、「バニラ」はつぶあん2倍にリニューアルしました。「抹茶」「バニラ」ともに、アイスとつぶあん、どらやき生地の絶妙なバランスをお楽しみいただけます。

北海道パウチゆであずき



あずきをはじめとする原料すべてを「北海道産」に限定した、こだわりのゆであずきです。十勝産あずきに、北海道産のビートグラニュー糖とオホーツクの塩を使用しました。長年培ってきた技術を活かした風味豊かなゆであずきで、アレンジレシピをお楽しみください。

2コ入大豆ミートまん



植物由来の代替肉への注目の高まりに応じて、豚肉を大豆ミートに置き換えた「大豆ミートまん」を発売しました。数種類の大豆たんぱくを使用して、お肉のような食感を再現しています。たけのこや玉ねぎ、椎茸を加えることで、肉まんのジューシー感を味わえるように仕上げました。

香肌峡のやさしい水 めぐるる



三重県飯高町・香肌峡(かはだきょう)の森が育んだミネラルウォーター「めぐるる」は硬度約200mg/ℓで、日本では珍しい硬水です。海外の硬水と比較してマグネシウムよりカルシウムの比率が高いため、カルシウムを手軽に摂取でき、飲みやすい軽い口当たりが特徴です。商品名には、水が体^るを巡ることと、水が地層を通して湧き水となり^る縵々として巡っていくことの意味合いを重ねています。

※ECおよび三重県内の一部量販店・道の駅・高速道路売店などで販売しています。

「KASANEL だらやきロールアイス」YouTube広告配信

「KASANEL だらやきロールアイス」のリニューアルにあわせて、2020年9月14日から約3週間、YouTubeで動画広告を配信しました。特に若者世代での認知度向上を目的として、話題のレトロカルチャーをベースにポップでかわいく商品の特征や強みをシンプルに伝える映像を制作しました。創業120年以上の「井村屋」とレトロなイメージは親和性が高いため、既存のファンの皆さんにも楽しんでいただける動画となりました。



YouTube広告画像

やわもちアイスで紙容器採用



2020年秋にリニューアルしたやわもちアイスで紙容器を採用しました。これまでプラスチック容器を使用しておりましたが、約1年に渡る検証期間を経て紙カップ化が実現しました。プラスチック使用量は1個あたり約85%削減できる計算です。2019年度販売量で試算すると、年間で約90トンの削減が見込めます。設備やコスト、品質面の課題をクリアしながら、今後も環境配慮型包材への切替を進め、持続可能な社会づくりに寄与いたします。

※やわもちアイスシリーズでの紙容器採用商品はカップタイプのパニラ、宇治抹茶、わらびもち、黒ごまです(2020年10月時点)。



左：プラスチック容器

右：紙容器

アイアイ基金より豪雨被災地支援



当グループ従業員が運営する寄付団体である「井村屋グループアイアイ基金」を通じて、令和2年7月豪雨の被災地支援のため、日本赤十字社三重県支部へ義援金を寄付いたしました。アイアイ基金は井村屋グループ従業員が社外に設立し、運営する寄付団体です。従来から企業として行っている寄付のみでなく、従業員が有志で支援することで、社会的責任および社会貢献を果たすことを目的としています。



弊社取締役兼上席執行役員
岩上 真人

日本赤十字社 三重県支部
事務局長 松田 克己様

「自由訳西蝦夷日誌七編」を北海道と三重県へ寄贈



松浦武四郎が記した紀行文を現代語訳した「自由訳西蝦夷日誌七編」を北海道と三重県へ寄贈しました。小豆をはじめとする原料での北海道とのつながりや、松浦武四郎が井村屋創業の地である三重県松阪市出身というご縁から、「自由訳西蝦夷日誌七編」に制作協力しています。寄贈した書籍はそれぞれの公共施設などに配布される予定です。北海道の名付け親である松浦武四郎の功績ならびにアイヌ文化の継承や理解促進のお役立ちができると考えております。



株式会社セコマ
代表取締役会長
丸谷 智保様

弊社代表取締役会長(CEO)
浅田 剛夫

北海道知事
鈴木 直道様

持株会社 概要(2020年9月30日現在)

井村屋グループ株式会社

本 社 所 在 地 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創 業 明治29年(1896年)
設 立 昭和22年(1947年)4月
資 本 金 2,576百万円
従 業 員 数 44名 ※グループ全体では1,000名(2020年9月30日現在)
事 業 内 容 事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理

役員・執行役員	代表取締役会長(CEO).....	浅田 剛夫
	代表取締役社長(COO).....	中島 伸子
	代表取締役副社長.....	前山 健
	専務取締役兼上席執行役員.....	菅沼 重元
	専務取締役兼上席執行役員.....	岩本 康
	常務取締役兼上席執行役員.....	富永 治郎
	取締役兼上席執行役員.....	大西 安樹
	取締役兼上席執行役員.....	中道 裕久
	取締役兼上席執行役員.....	岩上 真人
	取締役.....	名倉真知子
	取締役.....	西岡 慶子
	上席執行役員.....	近藤 久嗣
	上席執行役員.....	行方 貞彦
	上席執行役員.....	甲斐下方俊
	執行役員.....	井村 慎
	執行役員.....	岡田 孝平
	常勤監査役.....	脇田 元夫
	常勤監査役.....	森井 英行
	監査役.....	若林 正清
	監査役.....	橋本 陽子

(注) 取締役名倉真知子・西岡慶子の両氏は社外取締役であります。
監査役若林正清・橋本陽子の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト -----
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ -----
<https://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter -----
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式Facebook -----
<https://www.facebook.com/azukinoimuraya>

井村屋株式会社 公式Instagram -----
https://www.instagram.com/imuraya_dm/

井村屋株式会社 公式YouTube -----
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqnjbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(2020年9月30日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社 -----
所 在 地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷凍、スイーツの製造販売
代 表 者：浅田 剛夫、前山 健
<https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社 -----
所 在 地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容：菓子、食品、冷凍、調味料、食品添加物の製造販売
代 表 者：菅沼 重元
<https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社 -----
所 在 地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容：リース代理店業務、不動産管理業務等
代 表 者：池田 秀治
<https://www.imura-kk.co.jp/>

北京京日井村屋食品有限公司 -----
所 在 地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：調味料の販売
代 表 者：前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司 -----
所 在 地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：菓子、点心・デリの販売
代 表 者：前山 健、中野 憲一
<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC. -----
所 在 地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容：冷凍の製造販売
代 表 者：浅田 剛夫、甲斐下 方俊
<https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司 -----
所 在 地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容：菓子、調味料の製造販売
代 表 者：前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/idf/>

井村屋(北京)企業管理有限公司 -----
所 在 地：中国北京市朝陽区東三環北路甲19号楼9階1003室B035室
事業内容：中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務
代 表 者：富永 治郎、鈴木 和久

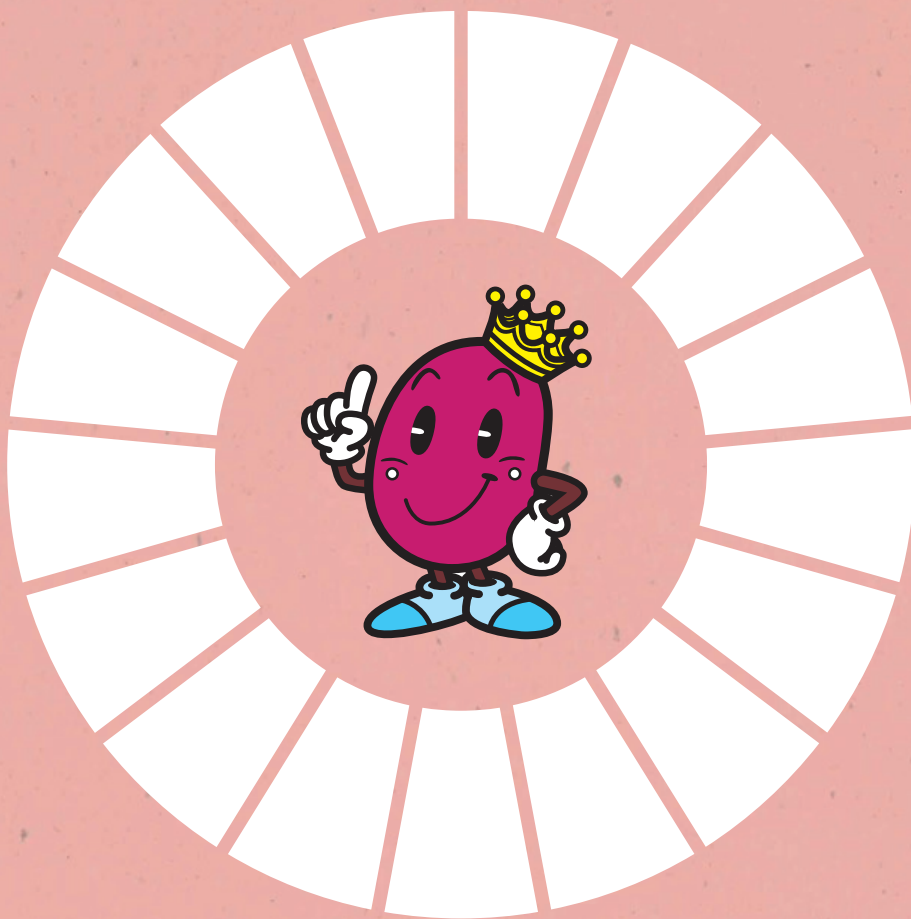
井村屋スタートアッププランニング株式会社 -----
所 在 地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：グループ各社が有する技術の新規事業または創業の支援
代 表 者：大西 安樹



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



井村屋グループはSDGsの考え方に共感し
グループ全体で社会性を重視した
サステナブル経営に取り組んでまいります。